

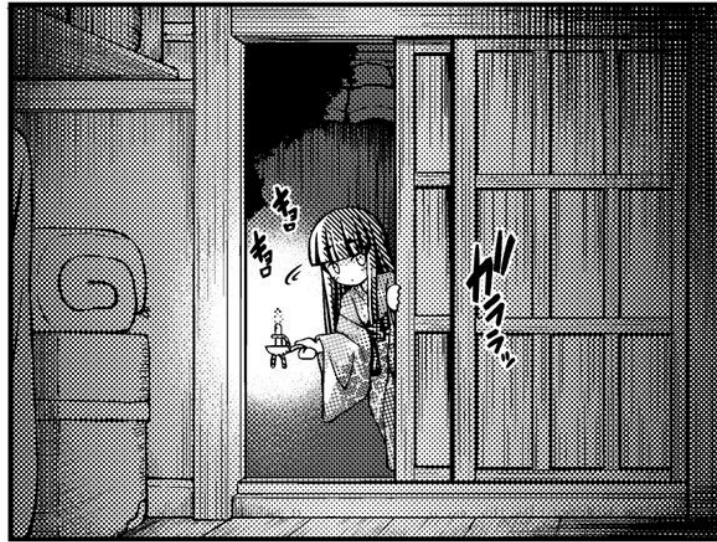
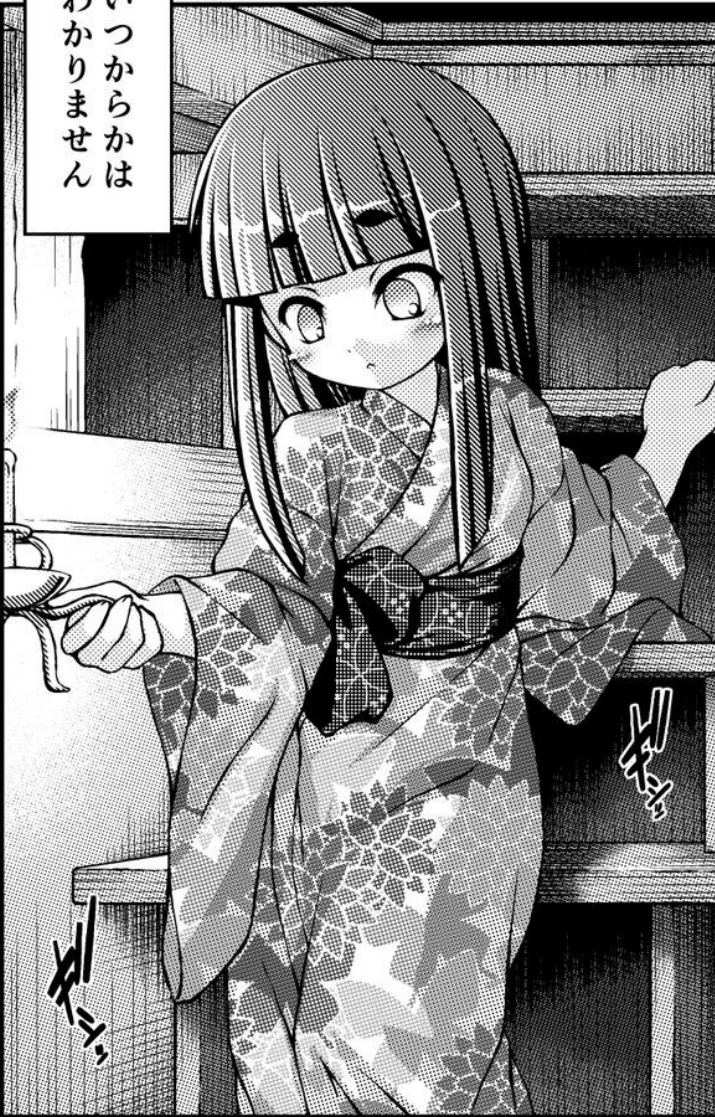


雛尖姫



雛尖姫

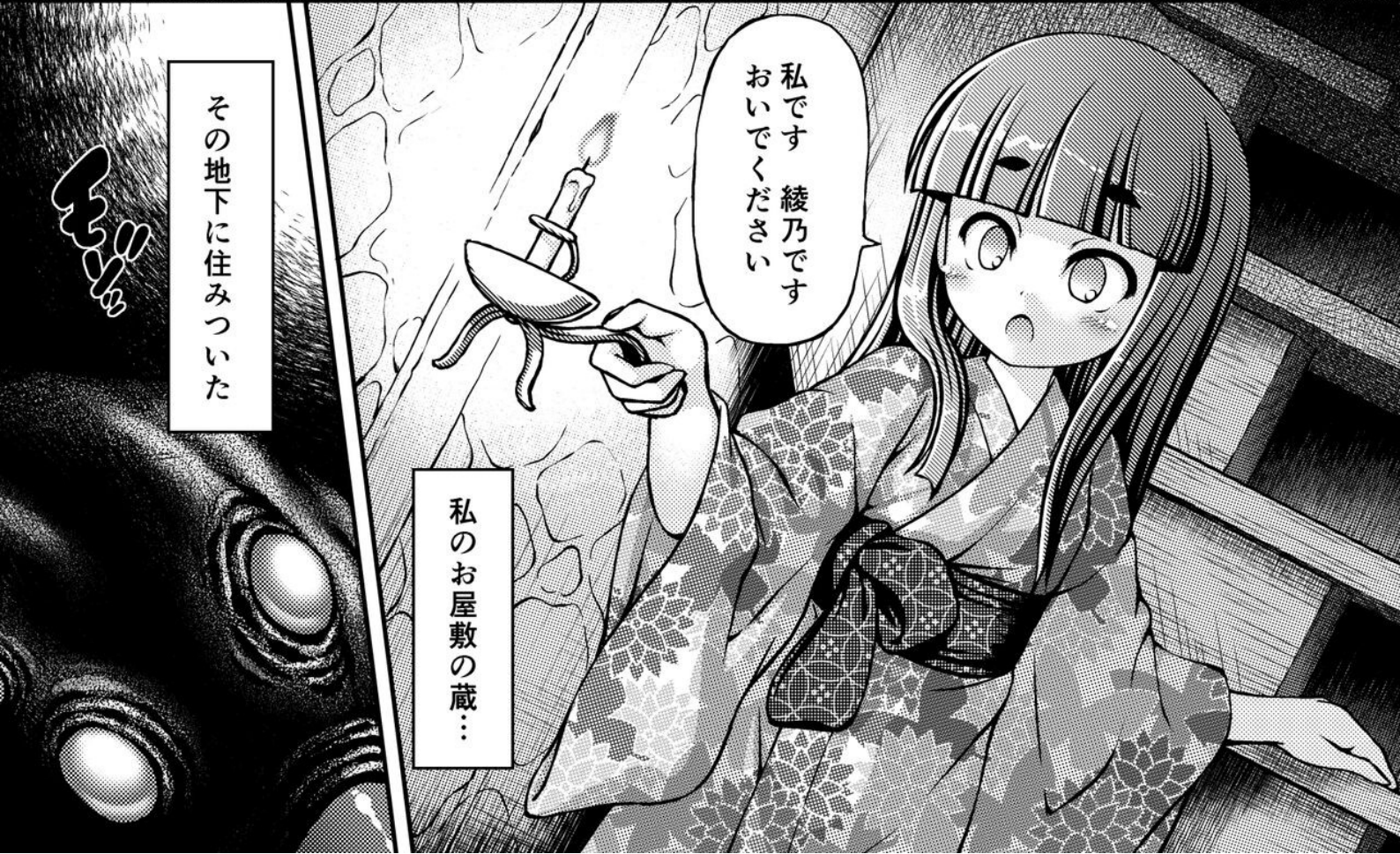
いつからかは
わかりません



その地下に住みついた

私のお屋敷の蔵…

私です 綾乃です
おいでください



異形の生物



びりびり

びりびり



ふふ
そんなに迫らなくても
私は逃げたり
しませんよ？

私には動物か
妖なのかの判別も
つけられません

ただ 家の者に
知らせたりなどを
するつもりは
ありません



少しお待ち
ください

フム

今
準備いたしますので



この者からは
敵意を感じませんし

シュレツ



なにより…

はら



今宵もたっぷりと
愛してください

旦那様♡

私にとって
大切なお方だから…♡



不釣合いに大きく
淫靡になった

私の恥ずかしい所



ん……
…どうぞ 満足ゆくまで
お飲みください

旦那様の好物は
私のお乳です

いつもこうして
お口で包み込んでから

細い管を伸ばし
乳首の中を撫で回すように
お飲みになられます

旦那様のものが
私の中に
入ってきて……ますう

ですが…





だめ…でっ
ひっかかって

あっ…あのっ
今ひっばっちゃ…

え？

ほほ



ほほほほ…

今宵はいつもと
少し違うようです



ほほほほ!!



ほほほほ!!

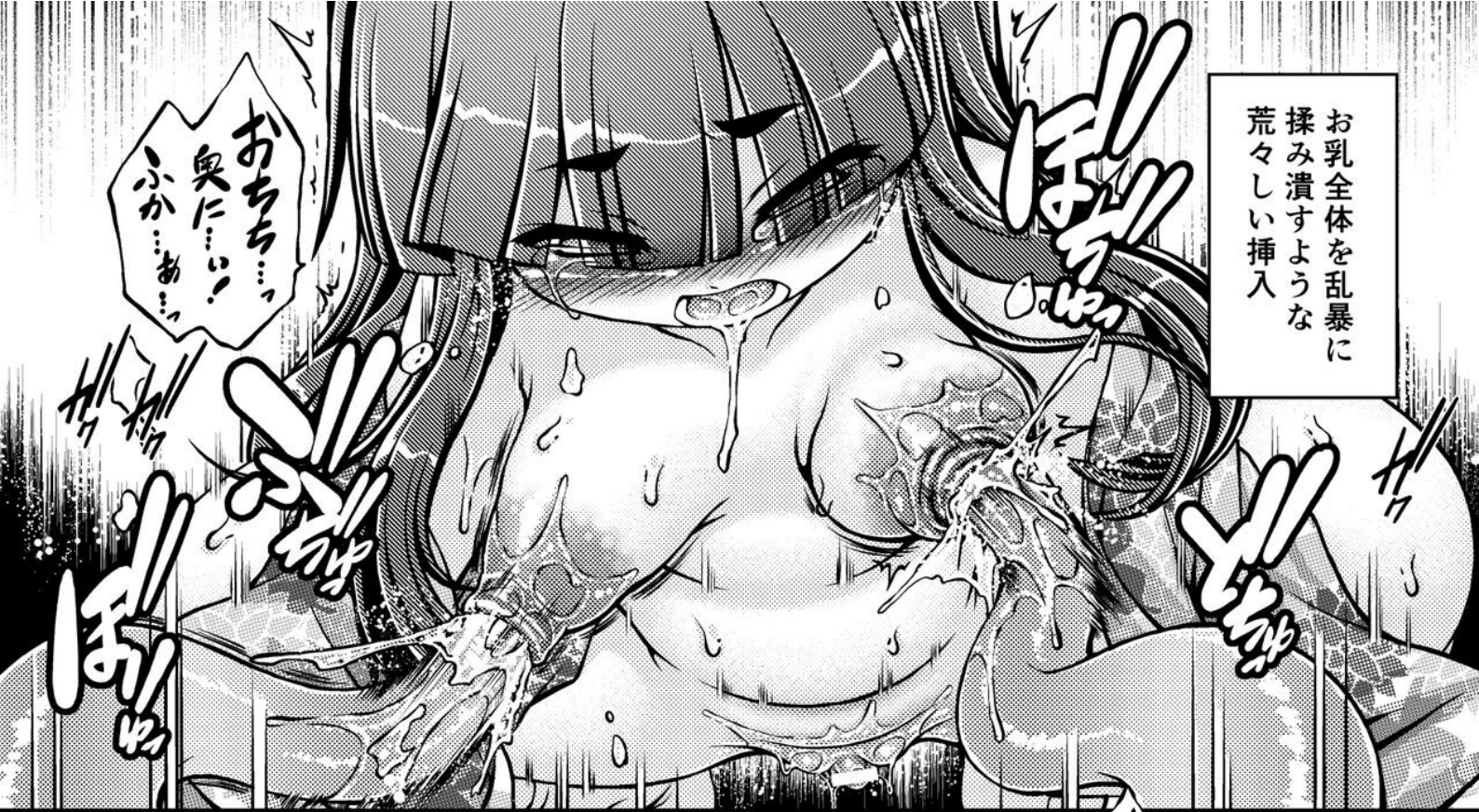
ほほほほ!!

か…

か…

ほほ

お乳全体を乱暴に揉み潰すような荒々しい挿入



こんなに激しくされるのは初めてでした



もしこれがお乳だけではなく

でも...

だ...だ...
たま...

おちち...
奥に...!
ふか...あ...

た...
た...
た...

おちちだけでは
せつないです…
こちらも…

お…おねがい…
…します…

かばあ

おサネも…こんな風に
乱暴にされてしまったら…♡

いじめて
くださいませ…♡

わたくしの
おサネも



先端に生えた
やわらかい綿のようなもので

わたくしのおサネが
磨かれていくのが
わかります



下も 左も 右も
皮の奥まで
余すところ無く



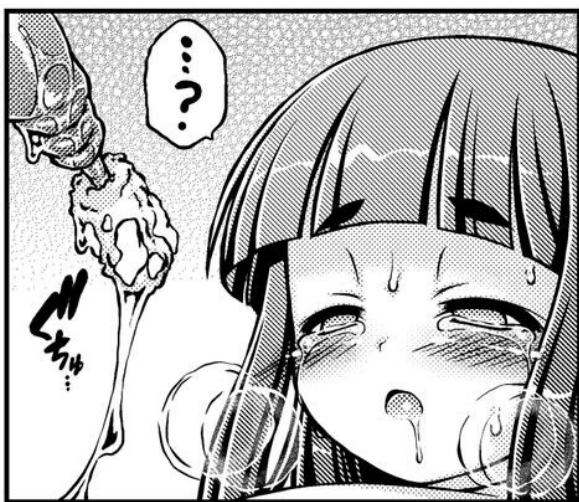
あ…く…

磨き終えた
それには

大量にこびりついた
私の…恥ずかしい垢



あ…ん…



…?

うそ…!
旦那様…

そんな…

だめ…

恥ずかしがる私の
目の前で
咀嚼なされました

それ…
って…

きたない…
です…

旦那様はわざと
それを見せつけて





あ…え？



恥ずかしさこそ
顔から火が出そうに
なる程だったので

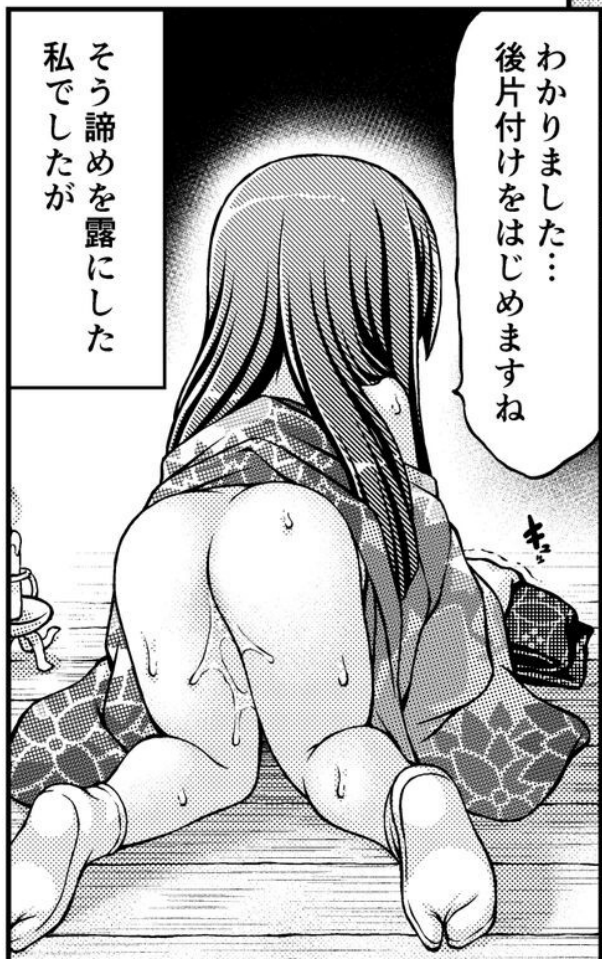
旦那様の
いじわる…

〜っ〜…



…ッ

私は…まだ…



そう諦めを露にした
私でした

わかりました…
後片付けをはじめますね



期待していた激しさは無く
いつものような優しい愛撫に
隠せない私がいま

あ…あの
今宵はもう
おしまい…でしょうか？

それは早とちりで
まだ旦那様は
終えるつもりなど
ありませんでした

トチユ

んく!!

クワン

い...た...あ...

むき出しのおサネに
突き刺された
一本の細い管

おサネ...?
なにが...

え...
旦那...様?

そこから注入される
ナニかの意味を
私はすぐに
知ることとなります

あ!!

お!!

直後 今までとは
比にならないほどの
熱がおサネを走り

危機を感じた私は
思わず管を抜こうと
手を伸ばしてしまいました

抵抗した罰なのでしよう
動けないよう拘束され
お乳にも同じ管が
刺されたのです



恥部に絶えず注がれる
熱いナニかに
私は抗う事も許されず
ただただ耐えるしか
ありませんでした



管を抜かれたときには
乳首もおサネも
倍の大きさへと痛々しく
腫れ上がっていました



もはや起き上がる力も
残ってない私を

旦那様は自らの上にお
乗せになりました

眼前に 私の
腫れ上がったおサネが
晒し出される体勢で…



そして 始まる
おサネへの
集中的な愛撫…

んっ…
あッ



締めつけ

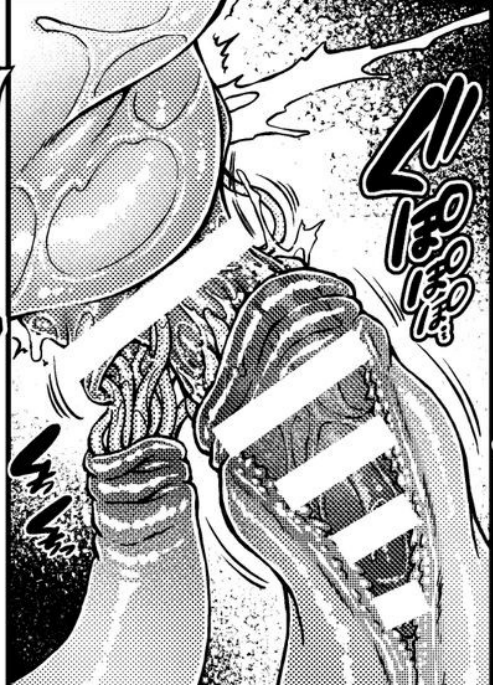
こすり

しゅわり…

んっおっ…

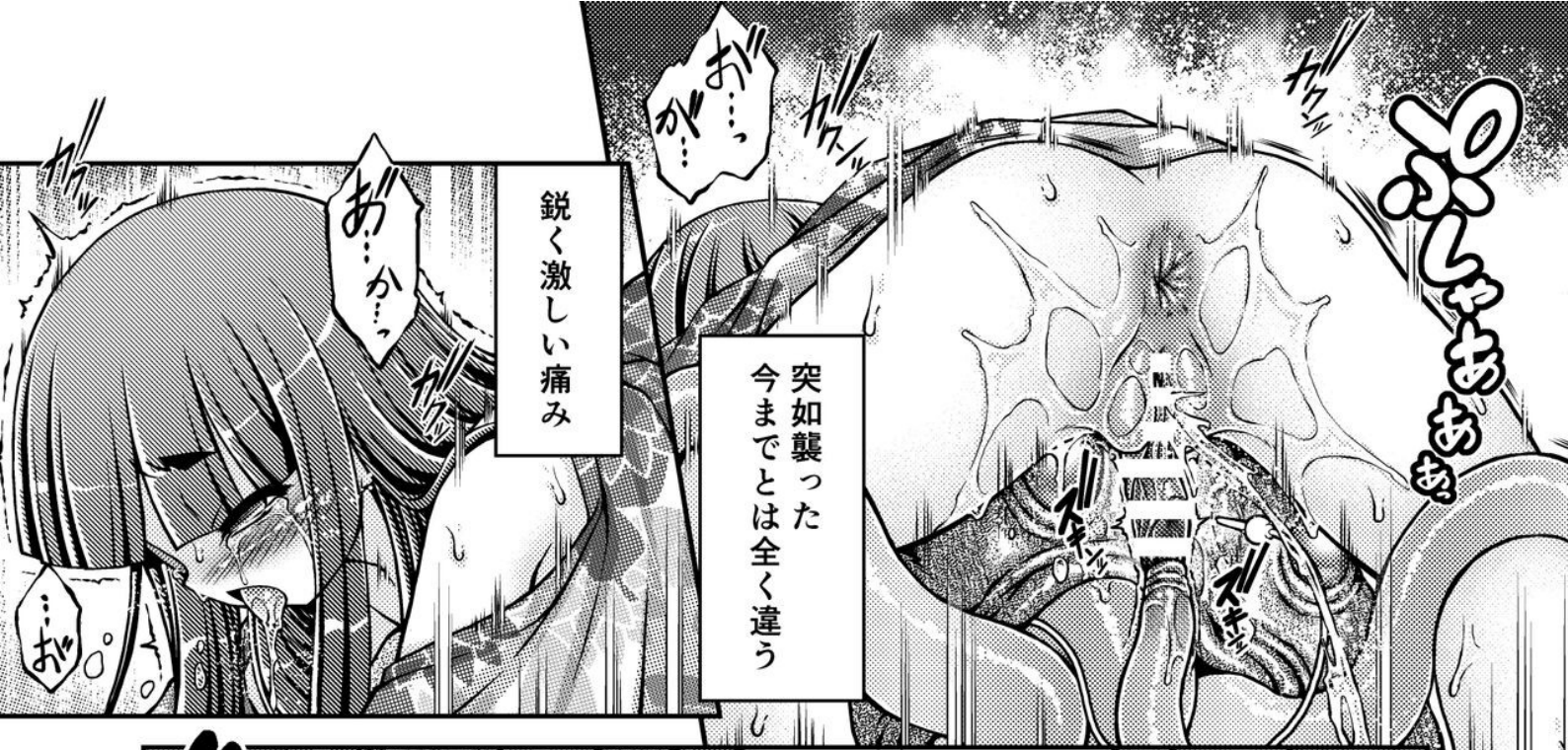


包み込む



掻きまわし

おっおっ…







…いじめて下さいと
私 確かに
言いましたけど

ム



でも…



すごく痛くて
死んでしまうかと
思っただんですよ!

いくらなんでも
最後のは
やりすぎです!

ごめんね
ごめんね



次も同じぐらい
綾乃をいじめてくださると
すごく 嬉しいです…
…旦那様♡



それ以外は
とても気持ち
よかったです

♡

あ と が き あざらし

なんやかんやで今年の春コミが無くなってしまおうたけど
それでもご本は作ったで!な巨クリ本でございました(´・▽・´)

自分の描きたい絵柄と自分の描ける絵柄の乖離を痛感した原稿作業でした
やっぱりうちはぷにロリしか描けんのですわな〜(´ω´)
そしてぷに体型と巨乳、すじと巨クリの相性の悪さも痛感
特に後者は長くて太い巨クリが好き自分には描きやすさの相性最悪でしたわ
どうがんばっても具がはみ出ないと成り立たない〜(´ω`)

さてもはや恒例となった感のある週刊ジャンプ話
今の新連載陣は心地が良いですねえ ミタマにアグラにアンデラに
去年のソレは読む物がほとんど無かった反動でめっちゃ充実してますわ
特に現在はアンデラが一押しあざらし
ただまあ今の時点ではどれも打ち切り生き残りレース真っ最中なんで
冬コミまでにどうなっているかが実に心配
生き残っていて欲しいけどはてさてですなあ(:3 _)3



アざらんディ

著者および発行者の承諾無く
本誌の一部または全部の
複製、複写、無断転載
インターネット上へのアップロードを固く禁じます

本誌は成人向けです
18歳未満の方は成人してから購入して行ってねー

雛尖姫

発行日 2020/05/02

発行者 茶鳥

連絡先 yamaika@infoseek.jp

URL <http://yamaika.x.fc2.com>

印刷所 株式会社栄光



不決斷